

## 資料・統計

## 2012年入院がん患者統計

## Statistics of Cancer Inpatients in 2012

新潟県立がんセンター新潟病院  
情報調査部 病歴室

## 2012年の入院がん患者の基礎資料

(表1, 図1)

2012年に新規がん登録された患者実数は2,783人、疾患数(延数)は2,887人であり、前年よりは若干減少した。当院のがん登録数は2001年以降、年に数百人ずつのペースで右肩上がりの増加を続けていた。2007年をピークに減少に転じたものの、2009年以降は再び増加傾向がみられる。

## 部位別がん登録数の推移 (表2, 図2)

部位別にみた新規がん登録数の上位10がんの推移を図2に示す。上位4がんまでは前年と同様であり、肺がん(437, 前年比-26)、胃がん(398, 前年比+12)、乳がん(326, 前年比-15)、前立腺がん(261, 前年比+1)の順であったが、第5位が膀胱がんから結腸がん(150, 前年比+33)に入れ替わった。

## 全入院患者に占めるがん患者数

(表3, 表4, 図3, 表5)

2012年に入院診療を行ったがん患者実数は4,293人(前年比+110)と前年に引き続き増加したが、延数ベースでは8,774人(前年比-359)と大幅に減少していた。実数ベースでの増加は新規がん登録数の増加をそのまま反映し、延数の減少はDPC制度下で外来化学療法への移行がさらに進んでいることを表している。

総入院患者数に占めるがん患者数の割合は、実数ベースで70.4%、延数ベースで81.6%と前年とほぼ同様であった。図3にこれまでの推移を示す。入院

患者実数での増加に比べて延数の増加が著しいのは、短期入院による化学療法の導入を反映している。表5にみるように診療科によってかなりの違いはあるものの、当院全体としてはがん診療への特化傾向が続いていることが分かる。

## 病類別在院日数 (表6)

がん(新生物)患者の平均在院日数は14.7日と、前年よりも若干延長していた。当院は全国のがんセンター群の中でも平均在院日数が比較的短いのが特徴である。

## 予後調査結果 (図4)

2011年までの51年間に登録された64,001名のがん患者の内、登録後20年未満の患者は40,539名であった。その内すでに病歴室もしくは新潟県がん登録で死亡が確認されている患者を除き、1年以上来院歴がない4,148名に対して郵送による直接照会を行った。回答数は3,465通(83.5%)で、未回答683名については法務局の許可を得て本籍地の市町村へ戸籍照会をかけたが、最終的に51名の消息が不明であった。予後判明率は $40,488 / 40,539 = 99.87\%$ であった。生存率データについては当院ホームページで公開している(<http://www.niigata-cc.jp/contents/disease/sippeitoukei.html>)。

(文責 竹之内辰也)

表1 2012年入(退)院がん患者統計

2012年の入院がん患者の基礎資料

1. 2012年新規がん登録患者数 (実数).....	2,783
2. 2012年のがん登録疾患数 (延数).....	2,887
内訳：本年初登録で単疾患	2,395例, 2,395疾患
本年初登録で複数疾患	85例, 176疾患
既登録で本年初発疾患	303例, 316疾患
3. 2012年の入院がん患者実数.....	4,293
(前年までの登録患者も含む)	
4. 2012年の入院がん患者延数.....	8,774
(前年までの登録患者も含む)	
5. 2012年の総入院患者実数.....	5,727
6. 2012年の総入院患者延数.....	10,746

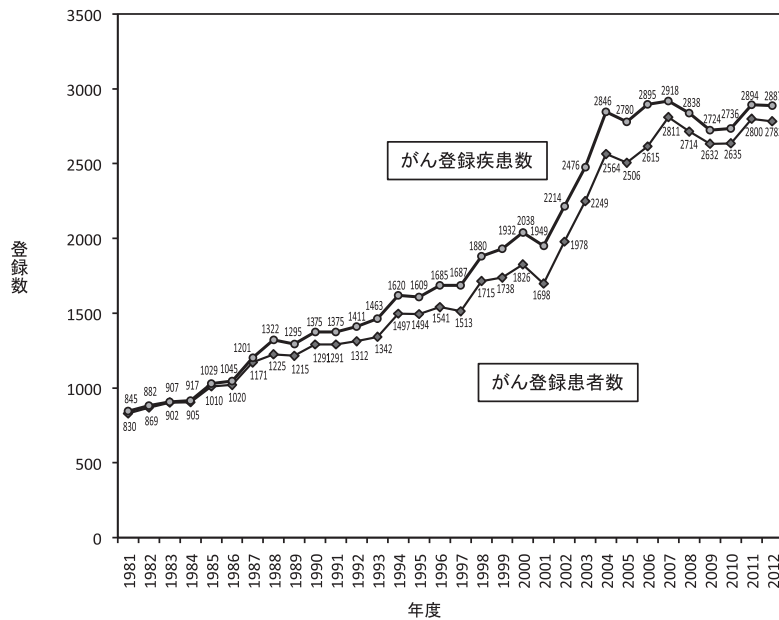


図1 院内がん登録数の年次推移

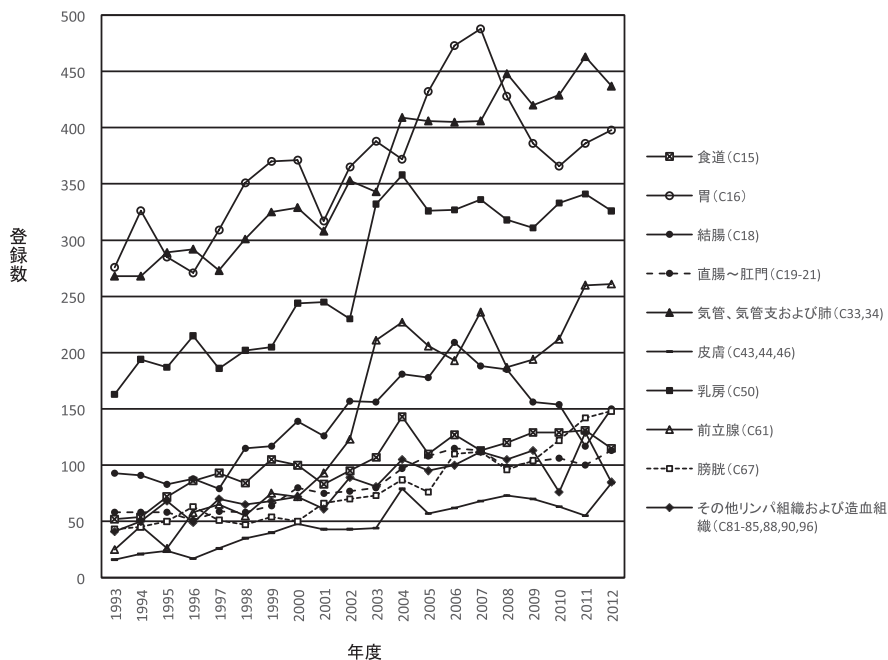


図2 がん登録数の年次推移 (上位10がん)

表2 部位別がん登録数の推移 (実数)

部位等 (ICD10)	2010年					2011年					2012年				
	入院患者実数	男	女	入院患者延数	新規がん登録数	入院患者実数	男	女	入院患者延数	新規がん登録数	入院患者実数	男	女	入院患者延数	新規がん登録数
口唇、口腔および咽頭の悪性新生物 (C00～C14)	74	53	21	141	45	60	48	12	98	43	80	64	16	146	51
食道の悪性新生物 (C15)	183	156	27	426	129	202	169	33	385	131	182	156	26	457	115
胃の悪性新生物 (C16)	431	300	131	897	366	467	335	132	945	386	489	359	130	840	398
小腸の悪性新生物 (C17)	7	3	4	9	7	7	3	4	12	3	5	3	2	7	7
結腸の悪性新生物 (C18)	196	92	104	333	154	165	100	65	264	117	197	106	91	304	150
直腸、直腸S状結腸移行部および肛門の悪性新生物 (C19～C21)	151	107	44	242	106	144	96	48	215	100	178	112	66	272	113
肝および肝内胆管の悪性新生物 (C22)	62	47	15	139	35	52	38	14	85	25	43	33	10	101	22
胆嚢および肝外胆管の悪性新生物 (C23,C24)	49	27	22	127	36	41	30	11	111	32	47	36	11	138	38
膵の悪性新生物 (C25)	97	55	42	163	71	103	61	42	177	72	108	61	47	191	72
その他消化器および腹膜の悪性新生物 (C26,C48,C45.1)	10	4	6	27	7	15	3	12	71	7	15	3	12	48	4
喉頭の悪性新生物 (C32)	41	40	1	63	20	30	29	1	49	19	37	35	2	86	29
気管、気管支および肺の悪性新生物 (C33,C34)	650	440	210	1406	429	702	492	210	1595	463	681	465	216	1462	437
その他呼吸系および胸腔内臓器の悪性新生物 (C30,C31,C37～C39,C45.0,C45.2)	20	12	8	47	9	25	15	10	47	19	25	15	10	62	9
骨および関節軟骨の悪性新生物 (C40,C41)	12	9	3	41	3	13	8	5	32	4	16	8	8	35	7
皮膚の悪性新生物 (C43,C44,C46)	77	45	32	109	63	71	33	38	105	55	97	56	41	143	84
乳房の悪性新生物 (C50)	519	3	516	1890	333	495	1	494	1454	341	484	0	484	1154	326
結合組織およびその他の軟部組織の悪性新生物 (C47,C49)	38	22	16	99	21	27	19	8	78	13	37	24	13	102	21
子宮頸の悪性新生物 (C53)	81	0	81	205	53	75	0	75	176	53	79	0	79	215	54
その他子宮の悪性新生物 (C54,C55)	76	0	76	283	50	96	0	96	321	73	90	0	90	272	61
その他女性生殖器の悪性新生物 (C51,C52,C56～C58)	116	0	116	437	67	103	0	103	435	47	112	0	112	416	56
前立腺の悪性新生物 (C61)	264	264	0	328	212	309	309	0	364	260	338	338	0	403	261
膀胱の悪性新生物 (C67)	227	176	51	382	122	261	214	47	460	142	267	211	56	446	148
腎および腎盂の悪性新生物 (C64,C65)	100	77	23	158	78	106	72	34	204	78	115	85	30	199	78
その他の泌尿生殖器の悪性新生物 (C60,C62,C63,C66,C68)	53	47	6	105	37	70	57	13	147	54	58	41	17	111	30
脳の悪性新生物 (C71)	10	6	4	13	4	13	7	6	19	12	16	7	9	23	12
その他および部位不明の悪性新生物 (C69,C70,C72～C80)	120	52	68	203	76	124	50	74	205	78	137	52	85	206	95
再掲 [甲状腺 (C73)]	82	27	55	102	47	96	32	64	123	62	105	37	68	125	76
白血病 (C91～C95)	81	52	29	252	31	97	67	30	276	38	82	51	31	208	40
その他のリンパ組織および造血組織の悪性新生物 (C81～C85,C88,C90,C96)	158	79	79	559	76	208	92	116	699	129	193	100	93	642	85
上皮内癌 (D00～D09)	98	9	89	100	96	102	5	97	104	100	85	1	84	85	84
計	4,001	2,177	1,824	9,184	2,736	4,183	2,353	1,830	9,133	2,894	4,293	2,422	1,871	8,774	2,887

※入院患者実数、入院患者延数：前年までに登録された患者も含む

表3 入院がん患者実数の年次推移 (実数および割合)

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
入院がん患者実数	4,081	4,176	4,115	4,094	4,001	4,183	4,293
%	68.3	68.5	69.2	69.2	67.1	68.6	69.4
疾患別患者実数	5,975	6,098	5,948	5,914	5,963	6,097	6,190

表4 入院がん患者延数の年次推移 (延数および割合)

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
入院がん患者延数	9,417	9,506	9,405	9,886	9,184	9,133	8,774
%	82.5	82.6	83.1	83.9	82.1	82.1	81.6
疾患別患者延数	11,413	11,515	11,314	11,787	11,186	11,120	10,746

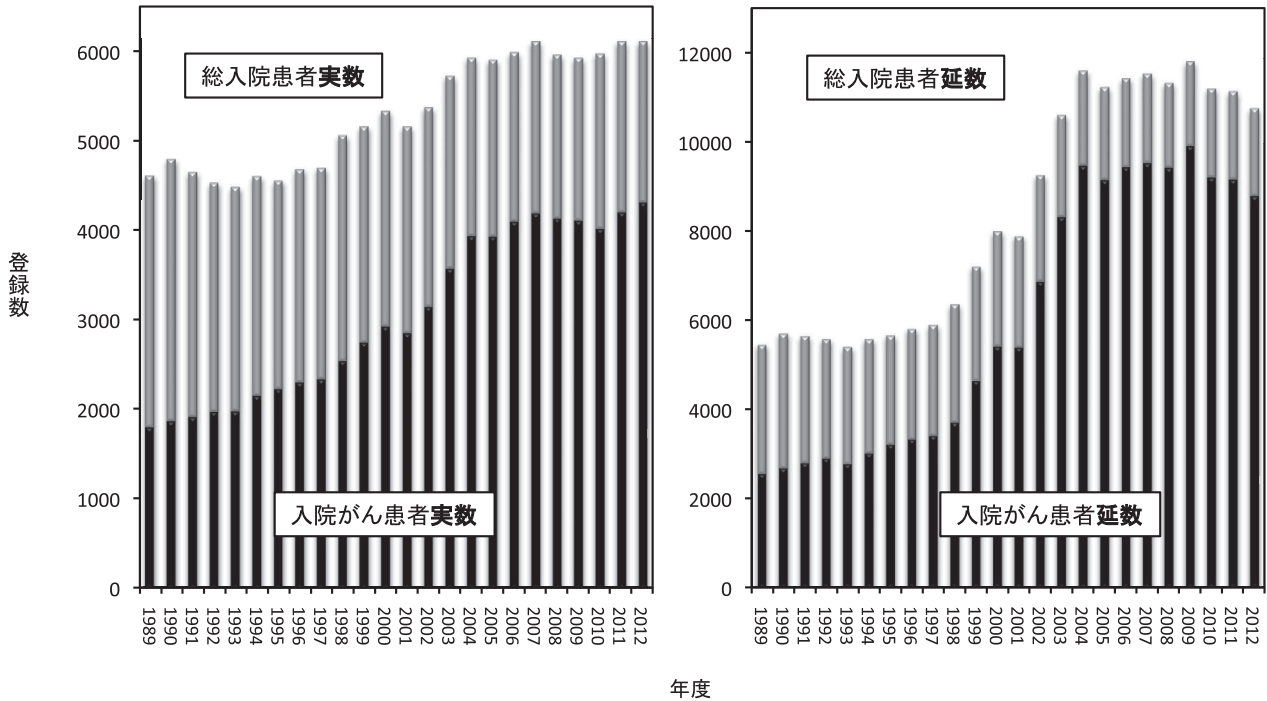


図3 入院患者に占めるがん患者数の年次推移

表5 診療科別がん患者割合 (延べ数, 重複あり, 死亡・剖検は実数)

診療科	がん患者数	(%)	入院患者数	死亡数		剖検数	
				がん	総数	がん	総数
内科	2,454	(82.8)	2,963	181	207	13	14
神経内科	0	(0.0)	22	0	2	0	0
小児科	143	(78.6)	182	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	338	(82.6)	409	13	13	0	0
外科	2,646	(90.3)	2,931	96	99	1	1
呼吸器外科	393	(91.0)	432	7	8	0	0
整形外科	139	(36.0)	386	5	7	0	0
心臓血管外科	0	(0.0)	0	0	0	0	0
脳神経外科	163	(67.9)	240	14	16	0	0
麻酔科	1	(50.0)	2	0	0	0	0
眼科	0	(0.0)	123	0	0	0	0
皮膚科	167	(85.2)	196	7	7	0	0
泌尿器科	1,085	(81.4)	1,333	42	43	0	0
婦人科	1,015	(78.7)	1,290	25	25	0	0
放射線科	230	(97.0)	237	2	3	0	0
合計	8,774	(81.6)	10,746	392	430	14	15

表6 2010年病類別 (大分類) 在院日数別患者数

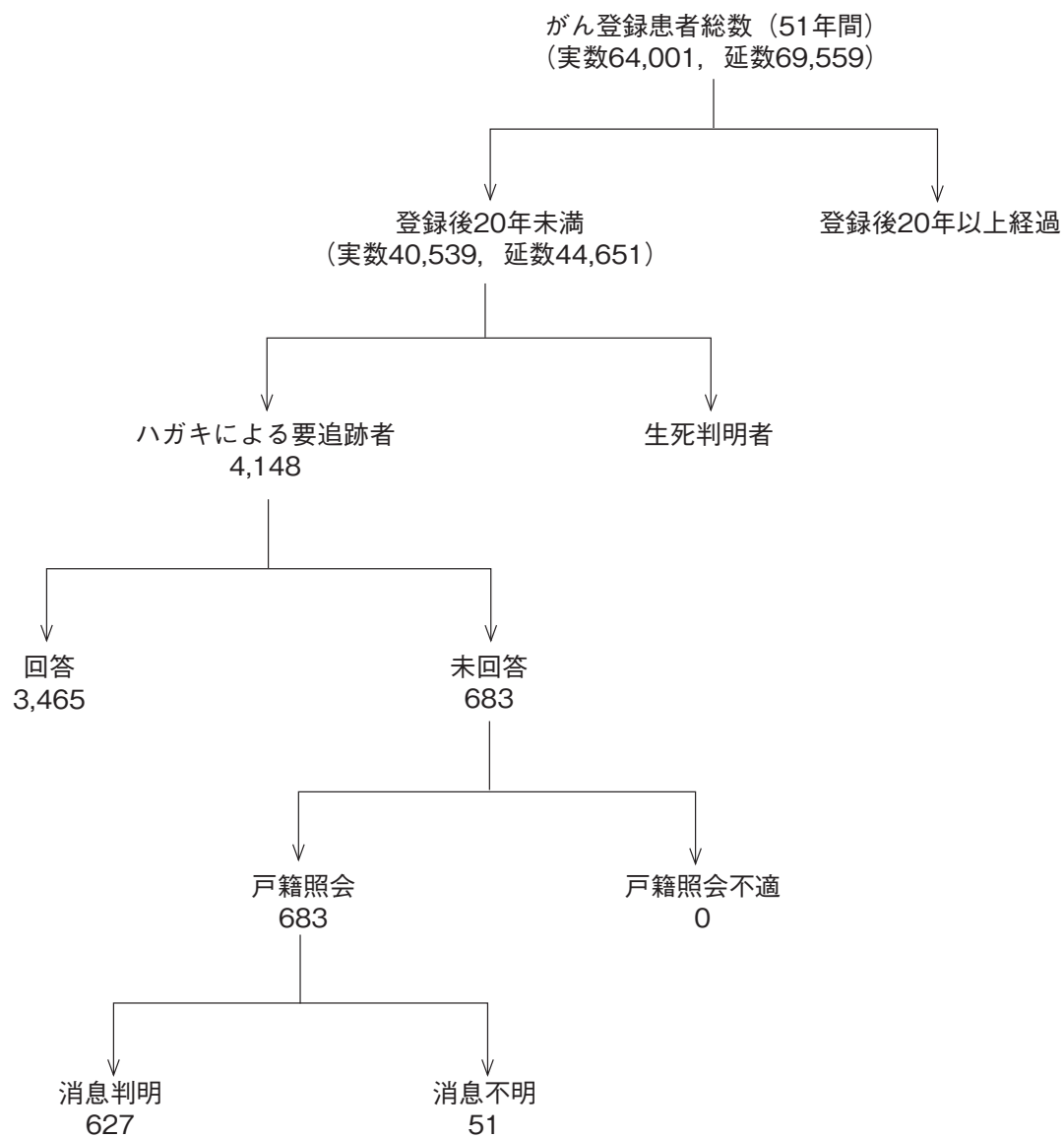
疾病大分類	在院日数	計	1~7日	~14日	~30日	~90日	~180日	~181日 以上	平均在院 日数
合計		10,746	4,594	2,899	2,221	933	86	13	14.1 (151,896)
I 感染症および寄生虫症		41	13	12	11	4	1	0	15.7 (644)
II 新生物		9,178	3,754	2,529	1,987	820	76	12	14.5 (133,534)
III 血液および造血管の疾患ならびに 免疫機構の障害		54	30	12	7	3	2	0	14.3 (771)
IV 内分泌, 栄養および代謝疾患		23	5	12	5	1	0	0	12.5 (287)
V 精神および行動の障害		6	5	1	0	0	0	0	4.0 (24)
VI 神経系の疾患		30	11	10	4	5	0	0	14.1 (422)
VII 眼および付属器の疾患		120	112	8	0	0	0	0	5.1 (607)
VIII 耳および乳様突起の疾患		4	4	0	0	0	0	0	2.8 (11)
IX 循環器系の疾患		205	102	53	33	17	0	0	11.4 (2,330)
X 呼吸器系の疾患		138	37	43	46	9	3	0	16.3 (2,256)
XI 消化器系の疾患		289	116	105	45	23	0	0	12.9 (3,732)
XII 皮膚および皮下組織の疾患		41	15	14	8	4	0	0	14.5 (596)
XIII 筋骨格系および結合組織の疾患		79	13	9	37	18	1	1	26.3 (2,075)
XIV 尿路性器系の疾患		361	295	54	11	1	0	0	4.8 (1,746)
XV 妊娠, 分娩および産じょく<褥>		1	0	1	0	0	0	0	8.0 (8)
XVI 周産期に発生した病態		0	0	0	0	0	0	0	0.0 (0)
XVII 先天奇形, 変形および染色体異常		7	2	4	1	0	0	0	9.3 (65)
XVIII 症状, 徴候および異常臨床所見・異常 検査所見で他に分類されないもの		53	41	5	5	2	0	0	7.0 (372)
XIX 損傷, 中毒およびその他の外因の 影響		99	23	26	21	26	3	0	23.7 (2,343)
XX 傷病および死亡の外因		0	0	0	0	0	0	0	0.0 (0)
XXI 健康状態に影響をおよぼす要因お よび保健サービスの利用		17	16	1	0	0	0	0	4.3 (73)
XXII 特殊目的用コード		0	0	0	0	0	0	0	0.0 (0)

( ) 延日数

良性平均在院日数 11.6 (総日数 22,909)

悪性平均在院日数 14.7 (総日数 128,987)

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{退院患者の入院延日数}}{\text{退院患者延数}}$$



予後判明率：40,488 / 40,539 = 99.87 %

予後調査対象：2011年までの20年間に登録され、最近1年間の受診歴がない患者

図4 2013年の予後調査結果